

# 第48回県下少年柔道大会

## 実施要項

1 主 催 公益財団法人鹿児島県柔道会

2 期 日 令和3年11月14日（日）  
※ 受付 9時00分～  
※ 審判・監督会議 9時30分  
※ 開会式 10時00分

3 会 場 西原商会（鹿児島）アリーナ武道場

### 4 参加資格

- (1) 選手は出場の意思が明確であり、保護者の承諾を得ていること。
- (2) 選手は、小学4年生以上で、健康かつ柔道の経験が1年以上であること。
- (3) 選手は、令和3年度全日本柔道連盟に競技者登録を、引率する監督は、個人登録及び公認指導者登録をしていること。（大会当日に監督が不在の場合には、選手は試合に出られない。）
- (4) 選手は、「スポーツ安全保険」等に加入していること。

### 5 チーム編成

- (1) チームは、原則として少年団単位とし、1チームで編成できる。監督1名、選手5名、補欠2名とする。
- (2) チームの選手の配列は、①低学年から高学年の順とする。②同学年内は体重の軽い者から順に配列する。  
※計量は任意申告とするため、計量時間は設けない。明らかに申告と違うと判断した場合には、計量を行う。
- (3) 先鋒および次鋒は、4・5年生とし、中堅・副将および大将は、5・6年生とする。ただし、下学年の児童が、上學年の児童の位置で出場することはできる。
- (4) 選手の配列は、試合ごとに変更できない。選手と補欠の入れ替えは認めるが、(2)に基づいて配列すること。
- (5) 選手4名以下の場合は、後詰めとする。
- (6) 一度退いた者は、出場できない。

### 6 試合方法

- (1) 試合はトーナメント方式とする。勝ちチームの決定は、次の順による。
  - ア 勝ち点による。
  - イ 勝ち点が同等のときは、内容による。
  - ウ 内容も同等のときは、代表戦で勝敗を決する。代表戦については、引き分けの試合の中から抽選で1試合を選び、通常の3分間の試合を行う。得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合には旗判定で勝敗を決する。（GSは行わない。）
  - エ 本規則に定められていない事態が生じた場合は、対戦者の中から抽選で1試合を選びウの代表選を行う。
- (2) 第3位決定戦は、行わない。

### 7 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における少年大会特別規定による。
- (2) 試合時間は、3分間とする。
- (3) 勝敗の決定基準
  - 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」とし、得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。
- (1) 「逆背負投」「両袖を持って施す投げ技」は禁止とし、かけた場合は「反則負け」とする。（以降の一連の試合には出場できることとする。）

8 組み合わせ 主催者で決定する。

9 表彰 第1位から第3位までを表彰する。

10 参加申込み

令和3年10月26日（火）必着で、郵送及びメールの両方で必ず申し込みすること。

〒892-0853 鹿児島市城山町2-21 公益財団法人鹿児島県柔道会

柔道大会申込みメールアドレス [entry@k-judokai.sakura.ne.jp](mailto:entry@k-judokai.sakura.ne.jp)

11 参加料 1チーム5,000円（大会当日、受付で納入する）

12 その他

(1) 脳震盪対応について

ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診療を受け、出場の許可を得る。

イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

(2) 皮膚真菌症（トンズラーン感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療関係において、的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある。

(3) 試合による負傷については、試合場での応急処置のみとする。

(4) 選手は、所定のゼッケンをしっかりと縫いつけること。

①布地は白色（晒太綾）で、サイズは、横 30cm～35cm、縦 25cm～30cm。

②上部 2/3 に苗字、下部 1/3 に所属を表記する。書体は楷書で、ゴシック体または明朝体を用いること。

③男子は黒字、女子は赤字とする。 ④縫い付けの場所は後襟から 5～10 cm下部とし、対角線にも強い糸で縫い付けること



(5) 選手が大会で着用する柔道衣については、規格にあった柔道衣を着用すること。

(6) 監督は、令和3年度全日本柔道連盟の登録書（ID）を大会当日持参し、受付で提示すること。

(7) 監督の服装は、審判員に準ずる。

(8) 新型コロナ感染拡大防止の関係上、入場制限（人数制限）があり、出場チームの監督で審判ライセンス保持者に審判を依頼いたします。つきましては申し込みに、保有する審判ライセンスを記入してください。

(9) 大会当日は、駐車場の混雑が予想されますので乗り合わせ、または公共交通機関での来場をお願いします。近隣近辺の無断駐車等はご遠慮ください。

(10) 個人で靴を管理するために、各自ビニール袋を準備すること。

(11) 新型コロナ感染拡大防止に係わる連絡事項（別紙）を確認し、体調チェック表は大会当日に受付へ提出すること。参加同意書については参加申込み時に郵送すること。大会当日は、検温、消毒、マスク着用、三密を避けるなど感染予防対策を徹底すること。また、大会後2週間以内に新型コロナウィルスに感染した、または濃厚接触者となった者については、県柔道会へ速やかに連絡をすること。

※柔道場内には、選手、監督、及び依頼した大会役員、大会補助員しか入場することができません。

※新型コロナ感染拡大によっては

拡大防止を避けるために、変更になることもあります。